

冬眠明けのツキノワグマに注意しましょう

春先、冬眠から目覚めたクマは餌を求めて活発に活動します。

クマによる人身被害を防ぐためには、「クマに出会わない」、「クマを引き寄せない」こと、万一、出会ってしまった場合は、「興奮しない、させない」ことが重要です。

県内で発生した人身被害の特徴

(県内では、記録が残る平成6年から現在までに72件の人身被害が発生)

- 早朝・夕方の時間帯と午後2時頃に発生のピーク
- 山中や山際で、高齢者の単独行動中に被害が多発
- 山菜・キノコ狩りや農作業に没頭、鈴やラジオ等音の鳴るものの携行なく、周囲にクマの食べ物や潜める場所あり

クマと出会わないために

山にクマがいることはあたりまえです。

- 1 入山する地域の出没情報に注意しましょう
- 2 糞や足跡等クマの痕跡に気をつけましょう
- 3 極力単独行動は避け、鈴、ラジオなど音の出る物で、自分たちの存在を知らせましょう
 - 作業に没頭せず、たえず周囲に気を配ることが重要です。
- 4 朝・夕の薄暗い時間帯の行動は、極力避けましょう
 - 犬が藪に隠れていたクマをおびき出したケースもあり、犬連れの山際での散歩は注意が必要です。
- 3 目撃情報のある地域では、車庫や小屋の戸を閉め、施錠しましょう



クマを引き寄せないために

クマを誘引するものの徹底的な除去が基本です。

- 1 生ゴミ等誘引物は適切に処理しましょう
 - 生ゴミ、不要となった農作物や果実は、クマのエサとなります。人家の周りや農地に放置せず、土に埋めるなど適切に処理してください。
- 2 ゴミは廃棄せず、持ち帰りましょう
 - キャンプや登山等で出たゴミ、山野にある墓地のお供え物等は必ず持ち帰ってください。
- 3 ヤブや茂みを刈り払う等、クマが出没しにくい環境整備を進めましょう

万一、クマに出会ってしまったら

落ち着いて行動することが大切です。

- 1 騒がず、走らず、クマと向き合ったままゆっくり後退しましょう
- 2 子連れのクマに注意しましょう
- 3 万一、クマが襲ってきたら
 - 地面に伏せ、両手で首の後ろをガードして頭や首等急所を守ってください。

目撃情報などは市役所・役場または警察署へ

目撃した場合や痕跡を見つけた場合は、直ちに市町村役場または最寄りの警察署に連絡してください。

連絡先：

～（市町村名）～